

伊佐庭 如矢物語



これは明治のお話です。当時の道後温泉本館は明治時代初めに建てられていたので古くなっていました。早く直さないと・・・そんな時、伊佐庭如矢さんが道後湯之町町長になりました。明治23年のことです。建物を直すにはたくさんのお金が必要です。町民の反対がありました。伊佐庭さんの「100年先もこの町が繁栄する」との気持ちで、ここにしかない建物にして観光客をたくさん呼びたい」との気持ちが伝わり、工事が始まりました。こうして明治27年にできたのが今の建物で、今年で117年。日本を代表する温泉として多くの観光客が訪れています。これだけじゃないのです。伊佐庭さんは本館工事以外に、道後までの鉄道を作ることや壊されようとしていた松山城を残すために努力しました。伊佐庭さんのふるさとを愛する気持ちが、今の松山・道後のシンボルを作り上げたのです。

100年先も繁栄を!



気分は小説家
それは本館の中を案内しよう。まずは「坊っちゃんの間」。「え、変わった名前。道後温泉によく来ていた夏目漱石さんが使った部屋を「坊っちゃんの間」と呼ぶだけ、どうして？」

本館にはこんな部屋がびっけり!!

「玉の石」には、道後温泉の湯に入っ
「着いた道後温泉本館」
「こっちは何かあるかな？」
道後温泉本館にやって来た探検隊。本館の北側で何か見つけたみたいだよ。
「おっきい石があるね」
「タマノイシ(玉の石)・・・？」
「ここは本館南側の駐車場で地上約20メートル見下ろせる景色のいいところなのだ。本館って大きいね」
「建物の一、番高い赤い所の上に付いているのはなんだろう？」
あれは温泉を見つけたといわれる「シラサギ」なんだよ。



「いてーわい」は伊予弁で「行てきます」の意味

体あったまる温泉よ

光宗 梨華さん
(新玉小5年)
お風呂が深く、びっけり。すく体が温まる温泉でした。又新殿のさりげなく付けてる細かい細工や天井部分の曲線の作りがすごかったし、振鷲閣の赤いガラスが明治時代にあったのが驚きました。

タイムスリップしてみたい

松島哲ルカさん
(目浦小6年)
石造りのお風呂で湯釜も大きかったから、びっけり。お湯は熱かったけど、つるつるしてたよ。明治・大正・昭和の建物が残る本館を見て、各時代にタイムスリップした気分になりました。

探検隊レポート

料金と営業時間

場所	大人	子ども	営業時間	
霊の湯	3階個室	1,500円	750円	6時～22時
	2階席	1,200円	600円	6時～22時
神の湯	2階席	800円	400円	6時～22時
	階下	400円	150円	6時～23時
又新殿の見学※		250円	120円	6時～21時30分

● 子どもは2歳以上11歳以下 (※は6歳以上11歳以下)

子どもクイズ
振鷲閣の屋根の上についている鳥はなに?
正解者の中から抽選で10人に図書カードをプレゼントします。
【応募できるのは】市内の小中学生
【応募方法は】平成24年1月16日(日)(必着)までに、はがきにクイズの答え、住所、氏名、学校名、学年、子ども特集の感想を書いて〒790-8571広報課「子どもクイズ」係へ

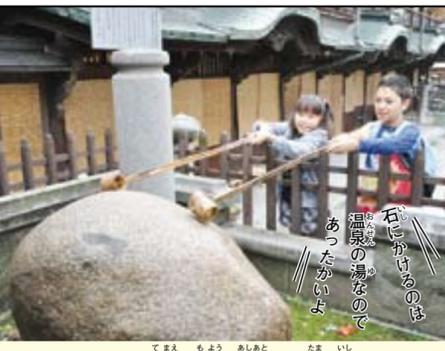
大広間でゆったり
「道後の朝は太鼓の音で始まるんだね」「時代劇みたい」
「さ〜お風呂に入るぞ」「神の湯」と「霊の湯」ってのがあるよ! わ〜楽しみ
2人が「神の湯」に入っている間に本館の紹介を。
「本館は明治27年に完成(左上の伊佐庭如矢物語を読んでね)後、大正・昭和に建物を増やして今この形になった。これまで大きな直しもなく残っているんだ。平成6年に国の重要文化財になったよ」
あつ、そろそろお風呂から出てきたみ

時を知らせる赤い部屋
「わ〜キラキラだ」「壁の模様など作りが細かいね」「お風呂が深い」
「太鼓を鳴らして時間を知らせるところだ」
「そうなんだ。太鼓は朝6時と正午、夕方6時に鳴るから一度聞いてみて。残したい日本の音風景100選に選ばれているのだ。」
「道後の朝は太鼓の音で始まるんだね」「時代劇みたい」
「さ〜お風呂に入るぞ」「神の湯」と「霊の湯」ってのがあるよ! わ〜楽しみ
2人が「神の湯」に入っている間に本館の紹介を。
「本館は明治27年に完成(左上の伊佐庭如矢物語を読んでね)後、大正・昭和に建物を増やして今この形になった。これまで大きな直しもなく残っているんだ。平成6年に国の重要文化財になったよ」
あつ、そろそろお風呂から出てきたみ

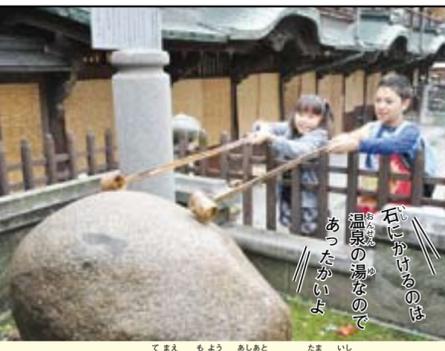
空から見える
「ここは本館南側の駐車場で地上約20メートル見下ろせる景色のいいところなのだ。本館って大きいね」
「建物の一、番高い赤い所の上に付いているのはなんだろう？」
あれは温泉を見つけたといわれる「シラサギ」なんだよ。

気分は小説家
それは本館の中を案内しよう。まずは「坊っちゃんの間」。「え、変わった名前。道後温泉によく来ていた夏目漱石さんが使った部屋を「坊っちゃんの間」と呼ぶだけ、どうして？」

玉の石
「おっきい石があるね」
「タマノイシ(玉の石)・・・？」
「ここは本館南側の駐車場で地上約20メートル見下ろせる景色のいいところなのだ。本館って大きいね」
「建物の一、番高い赤い所の上に付いているのはなんだろう？」
あれは温泉を見つけたといわれる「シラサギ」なんだよ。



「これ楽しみだつたんだ。お風呂上りのお茶とお菓子」
「あつ、この浴衣の模様面白いわね。なんだろう？」
その模様は「湯玉」って言うんだ。ところでこの神の湯2階席は55畳の大広間。たくさんの方が来ているよな。
「すごい人気! やっぱりぼくら自慢の道後温泉本館だ」「この冬、みんなも道後温泉に行ってみよう」



お問合わせは、道後温泉事務所 9215141・934934

神の湯2階席では湯玉模様の浴衣でくつろげます
振鷲閣の赤色のガラスがとてもきれいです
上から本館を眺めることのできる「空の散歩道」
もしかして手前の模様が足跡? 「玉の石」